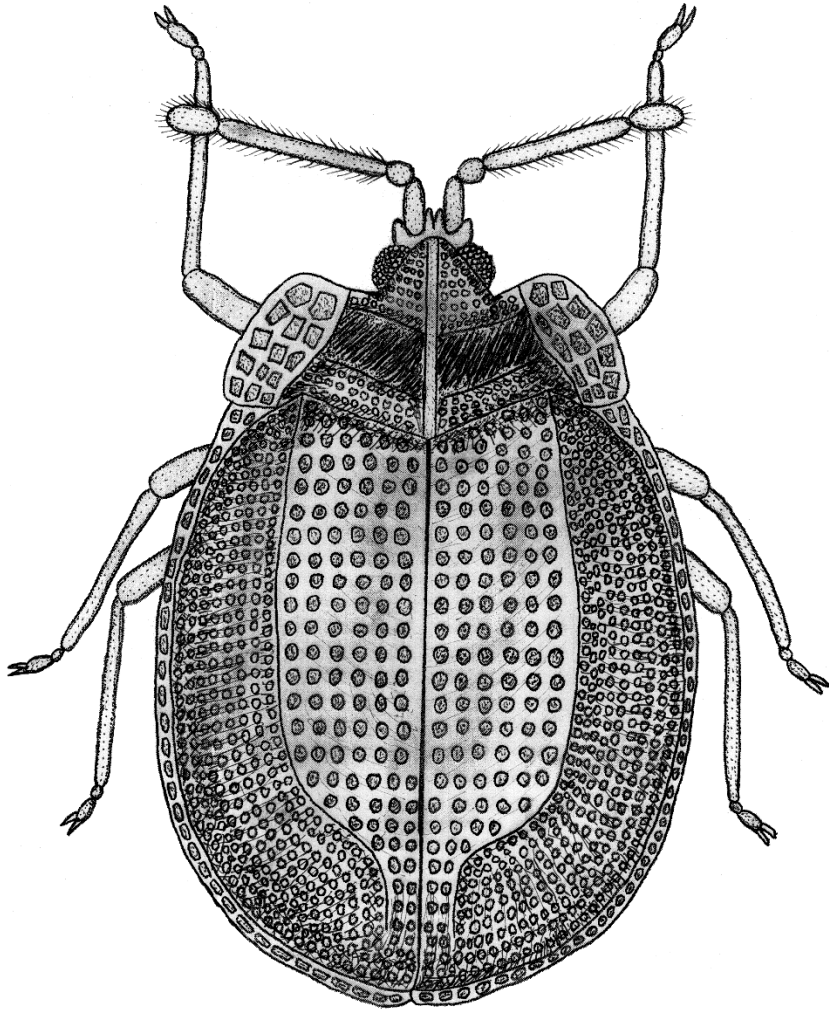


第 67 回 昆虫学研究室研究発表会

プログラム



2017年12月23日

10:30 ~ 16:30

会場：第一講義棟 2F 1204 教室

プログラム

○ 計画発表

10:30 ~ 11:15

1. 凍結乾燥によるオオカマキリのフリーズドライ標本の作成方法の確立とその有用性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・瀬尾朋渚
2. 昆虫学研究室収蔵標本における日本産クワガタムシ科のデータベースの作成と分析・・・・・・・・・・・・・・・・鈴木康太郎
3. エダナナフシにおける幼齡期ごとの形態的特徴の卒論計画・・・・・・・・富田愛海
4. 荻野運動公園におけるライト FIT を用いた甲虫相の研究・・・・・・・・牛木洋介
5. ヒメカマキリモドキ *Mantispa japonica* MacLachlan, 1875 の分類学的再検討・・・・・・・・・・・・・・・・越澤拓美
6. 厚木キャンパスにおけるクチブトゾウムシ亜科相の解明へ向けて・・・・・・・・小沼力也
7. 羽化トラップを用いたハバチ類の潜在的な天敵寄生蜂相の解明・・・・・・・・及川 恵
8. オオハサミムシにおける翅の二型性の発生要因について・・・・・・・・上野直樹
9. 関東を中心としたタゴビルの新分布域の調査と寄主に関する研究・・・・・・・・富森祐輔

15分休憩

11:30 ~ 12:10

10. 栽培方法の違いによるペピーノの害虫について・・・・・・・・前田帆空友
11. キシノウエトタテグモ及びキノボリトタテグモにおける海水耐性・・・・・・・・藤井誠也
12. クチブトゾウムシ亜科における上翅の体表構造について・・・・・・・・牧 柚希
13. カマキリ目における翅脈の比較形態学的研究に向けて・・・・・・・・小林大朗
14. 本州産陸棲爬虫類に寄生するマダニ類についての研究・・・・・・・・川田洋輔
15. 研修センターの海外産クワガタムシ科、カブトムシ亜科の標本整理及びリスト作成・・・・・・・・大場駿平・齋藤 修
16. 日本産コマツモムシ亜科の雌における同定法の確立・・・・・・・・田岡秋実
17. サカグチクチブトゾウムシの分子遺伝学的研究・・・・・・・・鳥取 満

昼休憩 (60分)

○ 研究発表

13:10 ~ 14:05

18. ナガタムシ属幼虫 2 種の形態観察・・・・・・・・佐伯智哉
19. 果実食ケシキスイの選好性調査・・・・・・・・今福悠人

20. 日本産チャイロナガカメムシ属 (カメムシ目, ヒョウタンナガカメムシ科) の分類学的研究 萩原賢治
21. 日本産オオキノコムシ亜科 *Erotylinae* の寄主について 深谷梨乃
22. 日本産 *Coccinula* 属 (コウチュウ目, テントウムシ科) 2 種の分類学的研究 福田悠人

15分休憩

14:20 ~ 15:20

23. ソウシジュを利用する植食性昆虫相とその天敵昆虫相について 陣内将清
24. 島嶼間距離と糞虫相の関連性 永田 旺
25. 水生生物による玉川, 恩曾川の水質評価について 櫛引颯太
26. 伊平屋島のアリヅカムシについて 樽宗一朗
27. 昆虫の色彩と模様を用いたデザイン 林 彩加
28. 日本産ヒメヒラタカメムシ亜科の分類学的研究 嶋本習介

15分休憩

15:35 ~ 16:30

29. 葛西臨海公園のハムシ相 山田昌美
30. 日本産 *Cladius* 属の分類学的研究—特に *Trichiocampus* 亜属について (ハチ目: ハバチ科: ヒゲナガハバチ亜科) 加藤優羽
31. トタテグモ下目の背面内突起と胸内板の形態 長野宏紀
32. 東南アジア産 *Tiracola* 属の分類学的研究 (ヤガ科: ヨトウガ亜科) および潜在害虫の推定に関する一考察 綿引大祐

・忘年会 (研究棟 2F 形態系実験室)

18:00 ~ 20:00

※ 本年度は、計画発表という形式を新たに組み込みました。学部 1~3 年生の希望者を対象に、来年度の研究計画を質疑応答含めて 5 分間で発表いたします。それ以外の学生は、例年通り研究発表を行います。

* 発表時間

- 計画発表 学部生: 発表 4 分, 質疑応答 1 分 (1 鈴 3 分/2 鈴 4 分/3 鈴 5 分)
- 研究発表 学部生, 研究生: 発表 8 分, 質疑応答 2 分 (1 鈴 5 分/2 鈴 8 分/3 鈴 10 分)
- 院生: 発表 12 分, 質疑応答 3 分 (1 鈴 8 分/2 鈴 12 分/3 鈴 15 分)

(このプログラムは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。)